

2023年6月1日
株式会社ゲンロン**批評家 東浩紀による新著『観光客の哲学 増補版』6月19日発売！****第71回毎日出版文化賞受賞作 待望の増補版刊行！**

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区西五反田 代表取締役：上田洋子）は、創業者である批評家・作家 東浩紀による新著『観光客の哲学 増補版』を刊行、6月19日より全国書店にて販売を開始します。



<編集部より>

本書は2017年に刊行された『ゲンロン0 観光客の哲学』の増補版です。オリジナル版は第71回毎日出版文化賞（人文・社会部門）をいただきました。書き下ろしの序文と外国語版への序文二種、そして計22000字に及ぶ新章「触視的平面について」「郵便的不安について」を新規に収録しています。

グローバル化が進むにつれて人々が排外的になるという現代の矛盾を、「観光客」という存在を考えることで乗り越える。それが本書の第一部のテーマです。オリジナル版の刊行からの6年には、コロナ禍とウクライナ戦争の開戦がありました。国境を越える移動が困難になる人類史的な経験をへたいまこそ、観光客の「ゆるさ」が求められている。今回の増補版刊行にはそうした背景があります。

そして本書の第二部は「家族の哲学（導入）」と題されています。「家族」（あるいは国家）について語ることもまた、この6年で大きく意味を変えました。家族は一見すると、観光客と対照的な閉ざされた存在ですが、じつは本来は偶然性にかかれたものなのではないか。この第二部の議論もまた、いまの時代に広く呼んでいただきたい内容です。

ちなみに「（導入）」と記されているのは、本書の姉妹編である『訂正可能性の哲学』にその議論が引き継がれ、より本格的に展開されているからです。こちらは7月～8月頃の刊行を予定しています。楽しみにお待ち下さい。

取材について

ゲンロンでは、本書および姉妹編となる『訂正可能性の哲学』とあわせて、著者 東浩紀へのインタビュー取材をお受けいたします。ご取材いただける場合には『訂正可能性の哲学』の原稿を別途お送りいたします。また書評をご検討いただける場合は見本誌をお送りいたします。詳細はお問い合わせください。

『観光客の哲学 増補版』書誌情報

■目次

はじめに

初版への序文

中国語繁体字版への序文

英語版への序文

第1部 観光客の哲学

第1章 観光

第2章 二次創作

第3章 政治とその外部

第4章 二層構造

第5章 郵便的マルチチュードへ

第2部 家族の哲学（導入）

第6章 家族

第7章 不気味なもの

第8章 ドストエフスキーの最後の主体

補遺

第9章 触視的平面について

第10章 郵便的不安について

文献一覧**索引****■著者プロフィール****東浩紀 あずま・ひろき**

1971年東京生まれ。批評家・作家・哲学者。株式会社ゲンロン創業者。東京工業大学特任教授、早稲田大学教授など歴任。著書に『存在論的、郵便的』（1998年、第21回サントリー学芸賞 思想・歴史部門）、『動物化するポストモダン』（2001年）、『クオンタム・ファミリーズ』（2009年、第23回三島由紀夫賞）、『一般意志 2.0』（2011年）、『観光客の哲学』（2017年、第71回毎日出版文化賞 人文・社会部門）、『ゆるく考える』（2019年）、『テーマパーク化する地球』（2019年）、『ゲンロン戦記』（2020年）『忘却にあらがう』（2022年）ほか多数。

■書籍データ

発行：2023年6月

判型：四六判・ソフトカバー

ページ数：本体424頁

価格：2,640円（税込）

I S B N：978-4-907188-49-8

一般販売について

書店での一般発売は2023年6月19日から開始となります。

ただいま、全国書店・各ECサイトにて予約受付中です。

■ 直販サイト（ゲンロンショップ） |<https://genron.co.jp/shop/products/detail/780>**■ Amazon | <http://www.amazon.co.jp/dp/4907188498>**

また、本書をお取り扱いいただける書店様で、販促ツール等が入用の際は、お気軽にお問い合わせくださいませ。

本誌に関する取材・お問い合わせは下記までご連絡ください

株式会社ゲンロン

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-24-4 WEST HILL2F

TEL：03-6417-9230 FAX：03-6417-9231

E-mail：info@genron.co.jp

担当：野口弘一朗（のぐち・こういちろう）